



第70回

全国植樹祭あいち2019

～木に託す もり・まち・人の あす・未来～

基本計画

< 概要版 >

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会



 愛知県

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 大会テーマ	3
4. マスコットキャラクター	3
5. 大会ポスター原画	3
6. 開催時期	3
7. 主催	4
8. 開催規模	4
9. 開催会場	4

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	6
2. 式典進行プログラム	6

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	7
2. お手植え計画	7
3. お手播き計画	7
4. 代表者記念植樹計画	8
5. 招待者記念植樹計画	8

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	9
2. 施設配置計画	9
3. 主要施設計画	9
4. サイン計画	10
5. 飾花計画	10

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	11
2. 招待計画	11
3. 招待者の行動計画	12
4. 受付計画	13
5. レセプション計画	13
6. 会場おもてなし計画	13

第6章 宿泊・輸送等計画

1. 基本的な考え方	14
2. 宿泊計画	14
3. 輸送計画	14

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	15
2. 荒天会場	15
3. 開催規模	15
4. 荒天時運営計画	15

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	16
2. 記念事業の内容	16
3. 関連事業	17

1. 開催意義

本県は、主力産業である自動車産業をはじめ、繊維や陶磁器などの伝統産業からロボットなどの次世代産業まで、ものづくりが盛んな「日本一のものづくり県」であり、平成39年度の開業をめざすリニア中央新幹線、国産初のジェット旅客機MRJなど、日本の未来を創るプロジェクトが、この愛知を舞台に大きく羽ばたこうとしています。

また、全国屈指の農業県であり、中でも花きは、昭和37年度から現在まで全国第1位を誇っています。

加えて、平成17年の「愛知万博」、平成22年の「生物多様性条約第10回締結国会議（COP10）」、平成26年の「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」といった国際的なイベント開催により培われてきた県民の高い環境意識を生かし、環境施策においてトップランナーである「環境首都あいち」の実現を目指しています。

平成27年には「全国都市緑化フェア」を開催するなど、緑や環境をテーマとした取組を継続的に行うとともに、山から街まで森や緑を守る「あいち森と緑づくり税」を導入し、独自の事業を展開しています。

また、公共建築物等木材利用促進法に基づく都道府県方針である「あいち木づかいプラン」や県内全ての54市町村が策定した市町村方針により、官民一体となって住宅や公共施設等への県産木材の利用拡大も進めています。

こうした中で、平成31年に、第70回全国植樹祭が愛知県で開催されることになりました。愛知県での開催は、昭和54年以来40年ぶり、2回目となります。

第70回全国植樹祭を「愛知の誇るものづくりの伝統と文化」、「森と緑づくりや木づかい」など、本県の魅力や取組を全国に発信する機会とします。

愛知県における全国植樹祭の開催状況

愛知県では、昭和54年5月27日、西加茂郡藤岡町（現在の豊田市）にて、天皇皇后両陛下をお迎えし、「緑で結ぼう山村と都市」を大会テーマに、第30回全国植樹祭を開催しました。

この大会では、天皇陛下がヒノキを皇后陛下がハナノキをお手植えになるとともに、南設楽郡鳳来町（現在の新城市）にて、スギとヒノキをお手播きになりました。

また、約2万人の参加者により、ツブラジイ、シラカシ、アラカシ等の記念植樹が行われました。



天皇陛下お手植え



天皇陛下お手播き



記念植樹

2. 開催理念

本県は、日本のほぼ中央に位置し、南は太平洋に面し、西部から南部にかけての一带は平坦で、濃尾平野、岡崎平野、豊橋平野が形成されており、東部には、三河山間部が広がるなど、多様な環境に恵まれています。

また、中京工業地帯の中心として、航空宇宙やファインセラミックス、エレクトロニクス等の先端産業や自動車産業等、世界でも有数の産業集積を誇り、製造品出荷額等が、昭和52年から現在まで全国第一位を誇る「日本一のものづくり県」です。

本県の「ものづくりの歴史」を振り返りますと、江戸時代において、名古屋では、木曾川を経て運ばれてくる良質な木材の一大流通拠点であったことや、名古屋城築城の際に集められた職人が定住化したことから、木材を利用した街づくりはもちろんのこと、「からくり人形づくり」や「山車づくり」、「家具製造」などを通じて、「木材を利用する技術」が培われました。

明治時代においては、こうした「木材を利用する技術」から発展した、時計、鉄道車両、楽器、航空機、織機などの近代産業をもたらし、本県の工業発展の礎となっています。まさに、木材の利用は、本県のものづくりの原点となっています。

一方、本県の「森林づくりの歴史」につきましては、古くは、自然に育った幼樹を採取し、苗木として植樹していました。

江戸時代から明治時代において、三河地方を中心に、種から苗木を育てる技術が発達し、容易にかつ多くの苗木を確保することが可能となり、植樹が進みました。また、尾張地方を中心に、燃料としての森林の伐採等によりハゲ山が広がっていましたが、尾張藩による植樹やヨーロッパの技術を取り入れて実施された治山事業などにより復旧されました。

戦後においては、復興の際に伐採された森林の緑化促進や高度成長期の木材需要の高まりを背景に、植樹が進められました。

こうした先人の方々のたゆまぬ努力が礎となり、現在は県土面積51万6千haのうち21万9千haが森林となっています。

また、人工林の割合は64%で、全国平均の46%を大きく上回り、人工林のうち、成熟して利用できる時期に達している森林の面積は76%と全国平均の52%に比べて大きな割合を占めています。

このように、森林資源が充実し、本格的な利用期を迎えている今こそ、木材利用を推進していくことが重要です。

木材の利用は、林業・木材産業を活性化するとともに、森林整備を促進することから、水を蓄え山崩れを防ぐなど、森林の有する多面的機能の持続的な発揮につながります。

さらに、木材の持つ柔らかさ、温かさといった特性は、快適で健康的な生活環境をもたらしてくれます。

このため、本県では、名古屋市を中心とした大消費地を抱える特性を生かし、住宅や公共建築物、街なみ等都市部への木材利用の取組を広げていきます。

また、成熟した森林を伐採・利用し、植樹をして次世代の森を造っていく「循環型林業」や、森や緑を守り育む「あいち森と緑づくり事業」を推進することにより、多面的機能を持続的に発揮できる森林づくりを加速していきます。

こうしたことから、第70回全国植樹祭は、以下の理念により開催します。

私たちは、「木材の利用」を山村と都市をつなぐ架け橋とし、
健全で活力のある「森林づくり」と「都市づくり」を進めていきます。

3. 大会テーマ

木に託す もり・まち・人の あす・未来

- 作者 : 大井田 雄策さん (東京都大田区)
おおいだ ゆうさく
- 制作意図 : 開催理念である「森林づくり」、「都市づくり」を進めることは、そこに住む「人づくり」にも通じることであり、今回の植樹祭で植える木から「森林をつくり」、「都市をつくり」、「人をつくる」ことで、明るい明日や未来をつくっていききたい。

全国から応募のあった899点の作品の中から、選定しました。

4. マスコットキャラクター

- 作者 : 盛 秀雄さん (青森県青森市)
もり ひでお
- 制作意図 : 愛知県の「A」の字をモチーフに、愛知県の森に住む、葉っぱを巻いた元気な女の子をイメージし、キャラクター化しました。
手には、苗とシャベルを持たせ、大会テーマの「木に託すもり・まち・人の あす・未来」を強調し、表現しました。

全国から応募のあった855点の作品の中から、選定しました。



森ずきんちゃん

5. 大会ポスター原画

- 画題 : 「ぼくの木」
- 作者 : 齋藤 悠大さん (西尾市立津平小学校2年)
さいとう ゆうだい
※平成29年度現在
- 制作意図 : ぼくのうえた木に、大すきなかぶとむしやたくさん生きものが、たのしくらせるようになるといいと思ってかきました。

愛知県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった12,439点の作品の中から、選定しました。



6. 開催時期

平成31年春季 (西暦2019年春季)

7. 主催

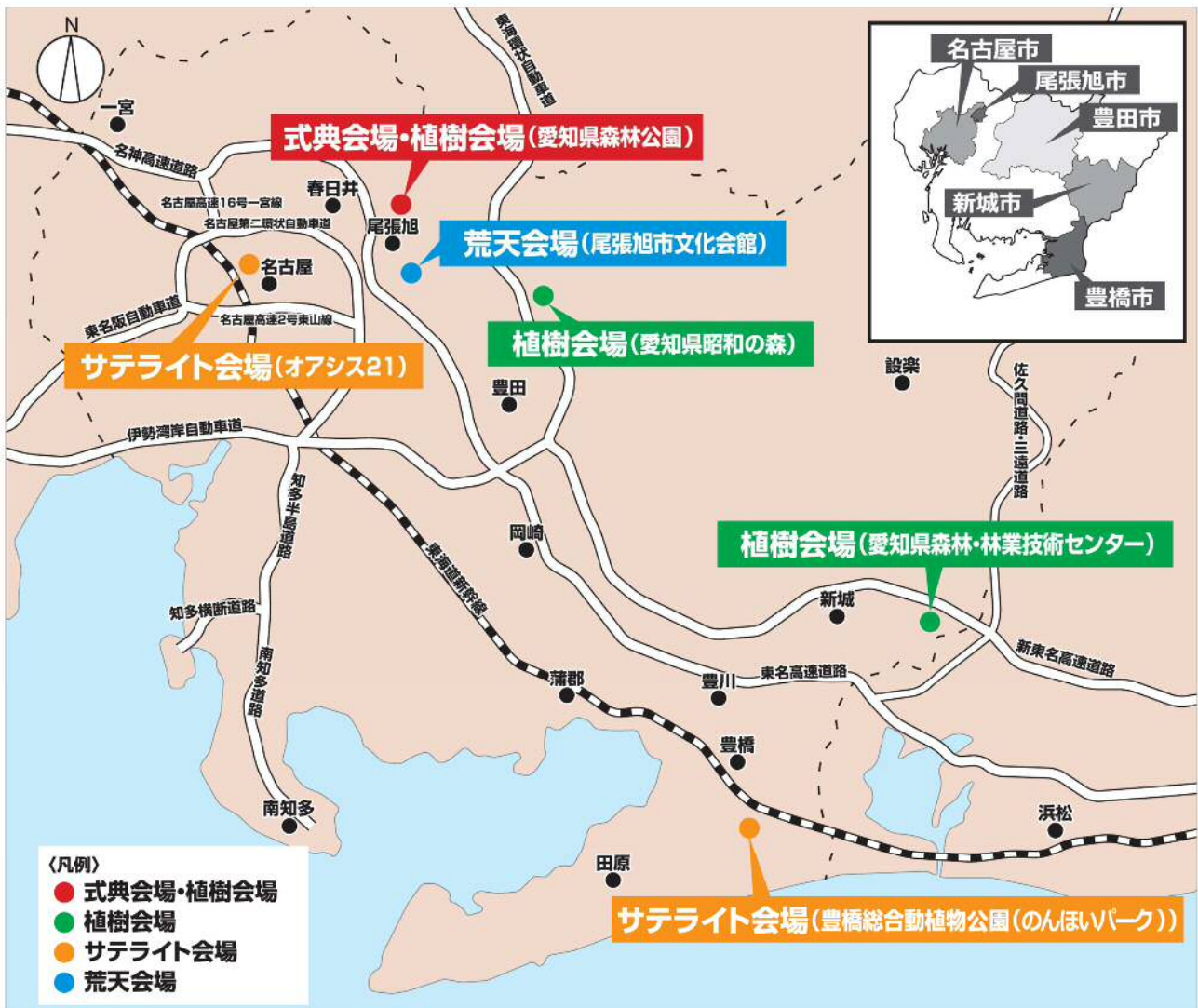
公益社団法人国土緑化推進機構
愛知県

8. 開催規模

県内外から参加する招待者、本部員、協力員等を含めて10,000人程度の規模で開催します。
ただし、荒天時は縮小します。

9. 開催会場

○開催会場位置図



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き行事などを実施します。

● 愛知県森林公園（愛知県尾張旭市大字新居5182-1）

尾張丘陵の一角に位置しており、江戸時代前期には「えびづる御林」として保護されていたものの窯業などのために樹木が乱伐され、明治初期は一带がはげ山となっていました。

県の治山事業等により植生が回復し、昭和9年に日本初の「森林公園」としてオープンしました。一般公園、運動施設、植物園、ゴルフ施設等を有しており、総面積は536haです。



愛知県森林公園



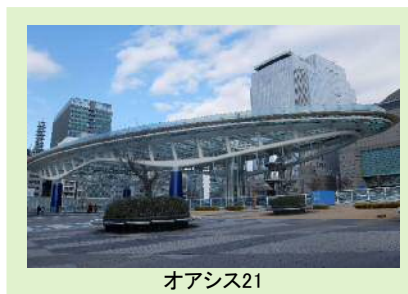
式典会場予定地

(2) 植樹会場及びその他の会場

式典会場の愛知県森林公園をはじめ、県内5ヶ所にて招待者の記念植樹を行います。また、県内2ヶ所に、サテライト会場を設置します。

< 植樹会場及びその他の会場 >

区分	会場名	
植樹会場	愛知県森林公園	休養の森
		南門
	愛知県昭和の森	記念の森
		四季の丘
	愛知県森林・林業技術センター	
サテライト会場	オアシス21	
	豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)	



オアシス21



豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)

1. 基本的な考え方

- ◆ 参加者が開催理念を共有するとともに、心に残る内容の植樹祭とします。
- ◆ 簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。
- ◆ 県内外から子ども、高齢者、障害者など、できるだけ多くの方々が参加できるよう配慮します。

2. 式典進行プログラム

- ◆ 式典行事は、「プロローグ」「式典」「エピローグ」の3部構成とします。

時間	区分	プログラム	進行内容
45分程度	プロローグ	プロローグ案内	●演出テーマ 「過去」の誇り “あいち 木とものづくりヒストリー”
		歓迎演出	
		式典の御案内	
50分程度	式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、愛知県知事
		表彰	緑化功労者などへの感謝の表彰
		苗木の贈呈	農林水産関係高校生から、 農林水産大臣ほかに苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者
		大会テーマの表現	●演出テーマ 「いま」の思い 森林と都市をつなぐ “木に託す言の葉の大樹メッセージ”
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
		閉会のことば	愛知県議会議長
30分程度	エピローグ	エピローグ案内	●演出テーマ 「未来」への誓い 未来に向けた森林と都市の“架け橋”を創 る木づかいへの誓い
		エピローグ演出	

1. 基本的な考え方

- ◆ 本県の気候風土に適し、植樹会場周辺に生育する在来の樹種を選定するなど、地域の特性に応じた森林づくりを目指します。
- ◆ 本県で生産された苗木を植樹します。また、苗木のスクールステイなどにより、子どもたちが自らの手で育てた苗木も植樹します。

※苗木のスクールステイ：全国植樹祭で使用する苗木の一部を県内の小中高生やみどりの少年団等に育成してもらい取り組み。

2. お手植え計画

<p>天皇陛下</p>	<p>スギ(あいちニコ杉) 愛知県の人工林の未来を担う少花粉スギ</p> 	<p>クスノキ 愛知県の「市町村の木」選定数No.1、巨木の代表格</p> 	<p>フモトミズナラ 名前が変遷している珍しいドングリの木</p> 
<p>皇后陛下</p>	<p>シデコブシ 白からピンクの花をつけ、里山の春を彩る代表的な木</p> 	<p>ヒトツバタゴ 春に白い花をつけ、雪に覆われたような姿が美しい木</p> 	<p>シキザクラ 開花時期が長い珍しい桜</p> 

3. お手播き計画

<p>天皇陛下</p>	<p>ヒノキ 愛知県の林業を支える木</p> 	<p>アベマキ 愛知県の里山を代表する木</p> 
<p>皇后陛下</p>	<p>ハナノキ 早春につける紅色の花が印象的な「県の木」</p> 	<p>マメナシ 春に白く可憐な花をつける野生のナシ</p> 

4. 代表者記念植樹計画

- ◆ 招待者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ◆ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- ◆ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。

5. 招待者記念植樹計画

- ◆ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による1人1本以上の記念植樹とします。
- ◆ 県外招待者は、式典行事開始前の午前中に植樹し、県内招待者は、午前中を中心に植樹します。

< 招待者記念植樹樹種（27種） >

会場名		本数	樹種
愛知県森林公園	休養の森	約8,000本	アベマキ、コナラ、フモトミズナラ、エノキ、ムクノキ、ウワミズザクラ、ヤマザクラ、アズキナシ、イロハモミジ、エゴノキ、シデコブシ、アラカシ、シラカシ、ツブラジイ、クスノキ、ヤブツバキ、モチノキ、ヤマモモ、ソヨゴ、コバノミツバツツジ、ムラサキシキブ、コバノガマズミ、ガマズミ、タニウツギ、アオキ、シャシャンボ
	南門		
愛知県昭和の森	記念の森		
	四季の丘		
愛知県森林・林業技術センター			あいちニコ杉

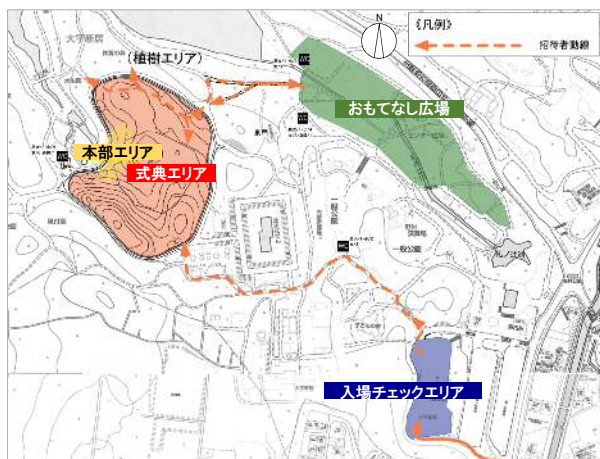
1. 基本的な考え方

- ◆ 会場の整備にあたっては、安全性や機能性を考慮し、招待者が安心して快適に参加できるように配慮します。
- ◆ 会場の整備にあたっては、積極的に県産の木材や花きを使用します。

2. 施設配置計画

- ◆ 会場は、式典エリア、本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。

○会場ゾーニング図



○会場イメージ図



3. 主要施設計画

(1) お野立所

- ◆ 山・川・平野・海といった多様で豊かな環境に恵まれるとともに、「ものづくり王国」として技術と伝統が息づき、地理的にも日本の中心である愛知県から、これからの「木づかい」や「森林づくり」を全国に発信することをイメージし、広がりのある開放的な施設とします。
- ◆ 一般に流通している柱材を利用しながら、曲線的なフォルムを描くことで、「木づかい」を大きく羽ばたかせ、明日へつなぐ本県の姿勢を表現します。
- ◆ 「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業をはじめ、愛知県が推進する木づかいからの森林づくりをPRするため、全てに県産木材を使用し、大会終了後は、部材を再利用します。



お野立所イメージ

(2) 会場内工作物

- ◆ 会場内工作物は、原則として県産木材を使用し、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

4. サイン計画

- ◆ 招待者が安全かつスムーズに式典行事や植樹行事などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- ◆ 案内サインは、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、絵文字を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインとします。
- ◆ 案内サインの材料には、県産木材のほか、環境に配慮した資材の使用に努めます。

5. 飾花計画

- ◆ 会場周辺の飾り花は、「花の王国あいち」らしく、県産の花きを使用し、会場を華やかにするとともに、招待者の安全かつ円滑な動線を確保するよう配置します。



参考例：第67回全国植樹祭長野大会



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

1. 基本的な考え方

- ◆ 全国から参加される皆様を、県民全体が「おもてなしの心」でお迎えし、開催意義や理念を伝える場とします。
- ◆ 市町村、関係団体、NPO法人及びボランティア団体などと協力し、連携を図ります。
- ◆ 参加者の安全・安心を確保し、快適に、清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

2. 招待計画

< 参加者の区分及び規模 >

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、愛知県知事、県議会議員、次期開催県知事等
②特別招待者	県外特別招待者	300人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員等
	県内特別招待者	370人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員等
	小計	670人	
③一般招待者	県外一般招待者	1,000人	各都道府県森林・林業関係者等
	県内一般招待者	6,300人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民等
	小計	7,300人	
招待者小計 ①+②+③		8,000人	
④本部員、協力員		2,000人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア 等
計 ①+②+③+④		10,000人	

3. 招待者の行動計画

時間	全体進行 (人数)	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者		本部員 協力員	
		30人	県外 300人	県内 370人	県外 1,000人	県内 6,300人		2,000人
7:00			指定宿泊地	指定集合地 指定宿泊地	指定宿泊地	指定集合地	指定集合地	
8:00	おもてなし 広場	指定宿泊地	入場チェック		記念植樹 (植樹会場)	入場チェック	各配置場所	
9:00		到着	記念植樹 (植樹会場)					入場チェック
10:00		着席	着席					
11:00	式典行事	プロローグ						
		式典	代表者植樹		式典			
12:00		離席	エピローグ					
13:00	おもてなし 広場	昼食	昼食					
			会場散策					
14:00		駅・空港				記念植樹 (植樹会場)		
15:00			駅・空港	指定解散地	駅・空港	指定解散地		指定解散地

※招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

- ◆ 宿泊される招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ◆ 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で、バスに乗車する前に行います。

5. レセプション計画

- ◆ 天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、第70回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し懇親を深める場とします。

<主 催> 愛知県
 <開催日時> 全国植樹祭開催の前日
 <出席者> 600名程度

6. 会場おもてなし計画

- ◆ 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。

区分	施設名	内容
おもてなし広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、民族芸能等の披露
	湯茶接待コーナー	参加者に湯茶、ミネラルウォーターを提供
	販売コーナー	愛知県内の特産品や飲食物等の販売
	展示コーナー	愛知県内の森林・林業、観光等を紹介
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩コーナー	休憩用テントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供、応急処置



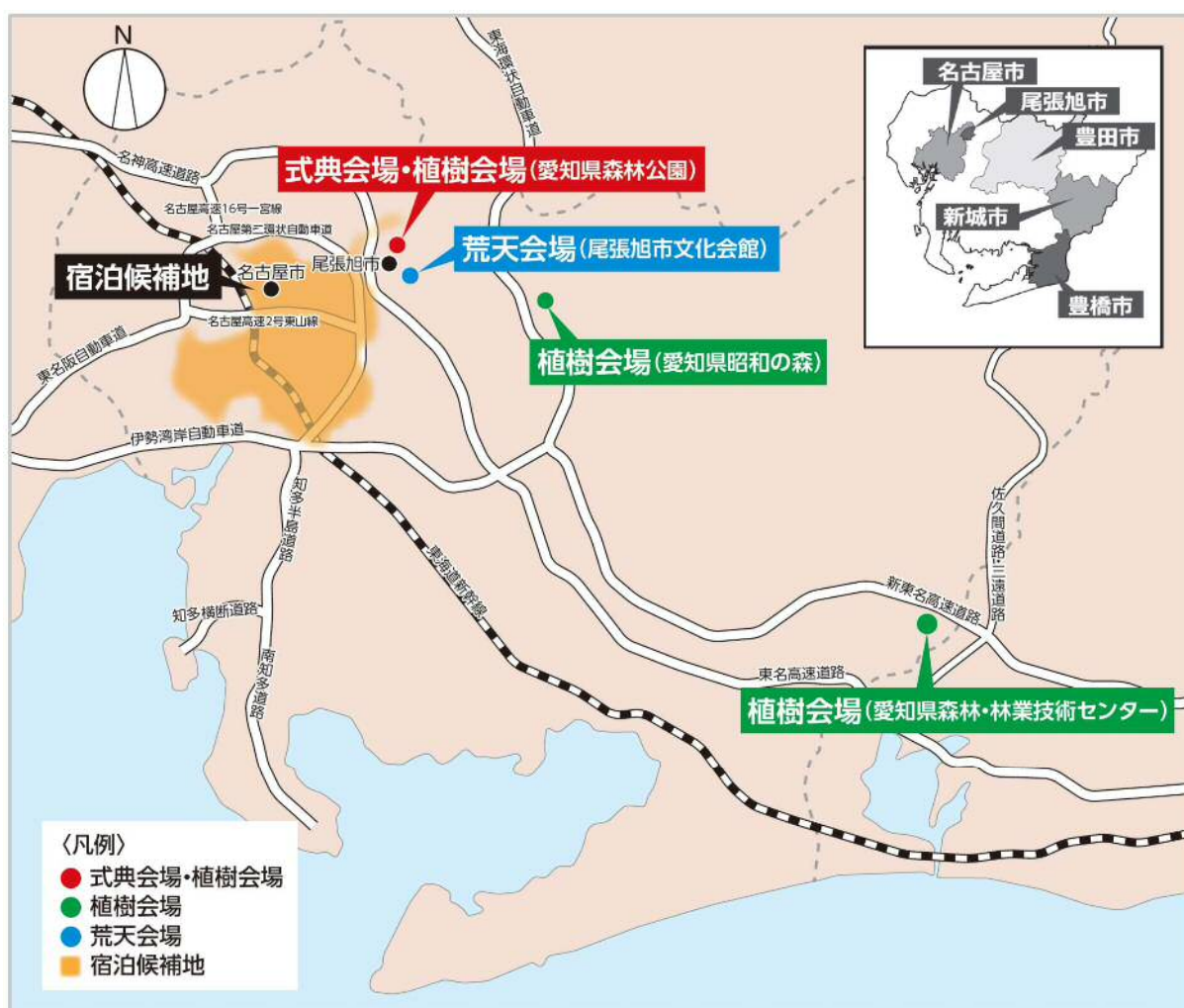
参考例：第68回全国植樹祭富山大会

1. 基本的な考え方

- ◆ 式典前日に、宿泊される招待者（主に県外招待者）は、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- ◆ 式典当日は、前日宿泊された招待者は宿泊施設から、宿泊されない招待者は最寄りの集合地から、実行委員会が準備したバスにより会場に移動することとします。
- ◆ 宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。

2. 宿泊計画

○宿泊候補地位置図



3. 輸送計画

- ◆ 参加者はバスで移動することを原則とし、参加者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ◆ 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを決めます。

1. 基本的な考え方

- ◆ 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天会場での式典を実施します。
- ◆ 開催日の1週間前から随時情報収集に努め、式典会場での式典の実施の可否を判断します。
- ◆ 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 荒天会場

- 尾張旭市文化会館（愛知県尾張旭市東大道町山の内2410-11）

○荒天会場位置図



荒天会場〈尾張旭市文化会館〉

3. 開催規模

- ◆ 県内外からの招待者等を合わせて1,000人程度の規模で開催します。

4. 荒天時運営計画

(1) 式典計画

- ◆ 晴天時の3部構成を式典のみとし、大会テーマの表現、代表者記念植樹を除いた構成とします。

(2) 判定会議

- ◆ 荒天時や地震、突発事案の非常事態に迅速、適切に対応するため、必要に応じ大会開催の可否について判断する会議（以下、「判定会議」という。）を設置します。
- ◆ 判定会議のメンバーやその召集方法、大会の中止・変更の判断基準とその対応について、ガイドラインを設定します。

1. 基本的な考え方

- ◆ 第70回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、県民参加の記念事業を実施します。

2. 記念事業の内容

(1) あいち“言の葉”キャラバン

各市町村で行われている農林・環境イベント等に
出向き、全国植樹祭の開催をPRするとともに、県
民から未来の木づかいや森林への思いに対する
メッセージを集めます。

【時期】平成29年5月13日～平成31年3月

【場所】全市町村（54市町村）

【内容】メッセージの収集（メッセージは、全国植樹祭式典の中で活用する）



(2) 地球未来子ども塾（共催 中日新聞社）

あいち“言の葉”キャラバンの一環として、次世
代を担う子供達を対象に、「木づかい人」による
ワークショップを開催します。

【時期】平成29年11月～平成31年3月

【場所】豊田市始め6か所

【内容】木製ランプシェード作り体験、組子細工
教室、からくり教室等



(3) 地域植樹イベント

県民参加による森林づくり活動を進めるため、
県内各地域で、植樹イベントを実施します。

【時期】平成29年5月～平成31年4月

【場所】県内各地（9か所程度）

【内容】記念植樹、あいち“言の葉”キャラバン等



(4) 苗木のスクールステイ

緑の大切さと緑づくりへの関心を高めるため、小中高生や
みどりの少年団等の協力により、全国植樹祭等で使用する苗木
の育成を行います。

【時期】平成28年10月～

【内容】県民参加による苗木の育成



(5) 第70回全国植樹祭1年前記念イベント

全国植樹祭の開催1年前の時期に、毎年春に開催している「愛知県植樹祭」をプレ大会として位置付け、大会の周知、開催機運の醸成を図ります。

- 【時期】 平成30年5月19日（土）
- 【場所】 愛西市親水公園総合体育館
- 【内容】 大会イメージソングの発表、フットサル教室及び記念植樹、あいち“言の葉”キャラバン、全国植樹祭の幟作り、苗木の配付、木材利用及び農林水産関係ブース等

(6) 第70回全国植樹祭PRイベント

第70回全国植樹祭の開催日や参加方法を周知して、全国植樹祭への参加を促します。

- 【時期】 平成30年9月15日（土）
- 【場所】 オアシス21（名古屋市東区）
- 【内容】 あいち“言の葉”キャラバン、ステージイベントやブースを使ったPRイベント等

大会成功に向け、PRイベントを開催します。

- 【時期】 開催年
- 【場所】 名古屋駅前（ナナちゃん人形前）
- 【内容】 PRイベント等

(7) 全国植樹祭シンボル「木製地球儀」リレー展示

第70回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、「木製地球儀」をリレー展示します。

- 【時期】 平成30年6月～
- 【場所】 県内各地域
- 【内容】 木製地球儀の展示

(8) 各地域で実施される緑化関連イベント

県内各地で実施されるイベントを第70回全国植樹祭の記念事業と位置付け、それぞれ連携して啓発や情報発信等を行います。

- 【時期】 平成30年4月～
- 【場所】 県内各地域
- 【内容】 植樹、森林整備、木工教室、シンポジウム、観察会等



参考例：第68回全国植樹祭富山大会

3. 関連事業**(1) 第48回全国林業後継者大会**

全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業後継者の育成や、健全な森林づくりを推進するための大会を行います。

- 【時期】 平成31年春季（第70回全国植樹祭の前日）
- 【場所】 未定
- 【内容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスカッション等



第44回全国林業後継者大会の広報誌



[表紙写真]

左: 針葉樹林(岡崎市切山町)

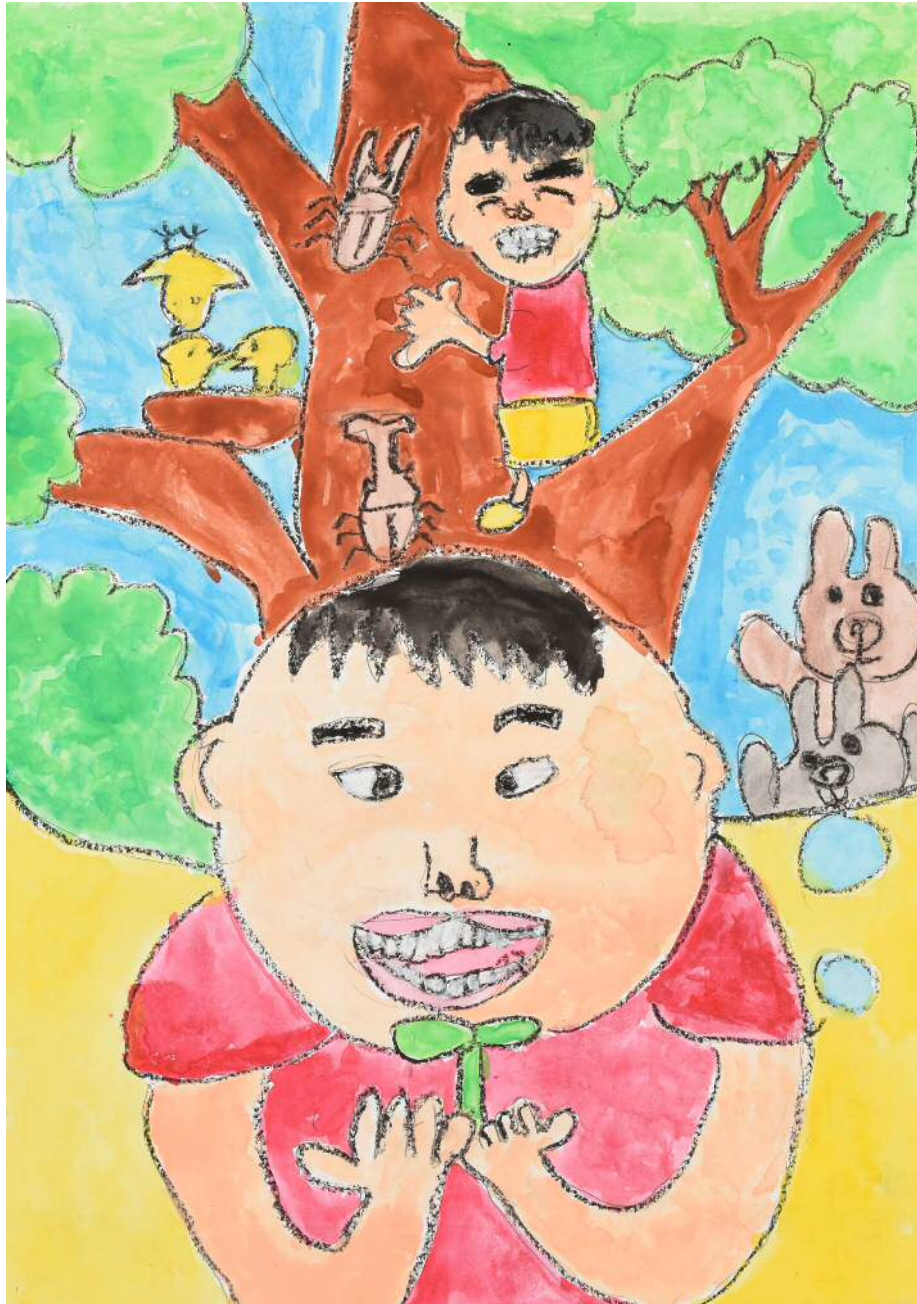
右: 愛知県がんセンター愛知病院 地域緩和ケアセンター(岡崎市)

下: 名古屋都市風景 新緑の名古屋城と高層ビル群



[裏表紙]

大会ポスター原画: 「ぼくの木」



第70回全国植樹祭 基本計画<概要版> 平成30年2月

第70回全国植樹祭愛知県実行委員会事務局
(愛知県農林水産部農林基盤局森林保全課全国植樹祭推進室内)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話：052-954-6618 ファクシミリ：052-951-7882
ホームページ：http://www.syokujusai-aichi2019.jp
または、「第70回全国植樹祭 愛知」で検索してください。